◎ 科目名/Subject	キャリア関連学習
🥯 曜日・講時・教室/Day/Period/Place	前期 月曜日 5講時 川北キャンパスC202
◎ 科目群/Categories	全学教育科目先進科目-国際教育
● 単位数/Credit(s)	2
🧐 対象学部/Object	全
● 担当教員(所属) ● /Instructor (Position)	山本 喜久江 所属:
∰ 開講期/Term	1/3/5/7セメスター
● 科目ナンバリング	ZAC-GLB810J
使用言語 /Language Used in Course	日本語
● メディア授業科目	

授業題目	【国際共修】グローバルコミュニケーション・スキル (日本語) Interpersonal Communication (Japanese)
授業の 目的と概要 ・/Object and Summary of Class	コミュニケーションの実践練習の場を提供するもので、グローバルコミュニケーションに必要な知識やコツを学ぶ。 毎回、テキストに沿ってトピックを選びそれについてコミュニケーションをすることを通じて、自分と他人は違うことを前にも増して体験を通して知る。 多くの会話を重ねることで、コミュニケーションの喜びを体験する。最後にグループ発表があり、その準備もそれまで学んだことの練習の場である。またチームワークを学ぶ場でもある。 This class provides an introductory theory and concept on interpersonal communication and intercultural communication. Through a participatory-based learning, you will have many opportunities to communicate with other students on topics, based on the textbook. You will learn basic tips and preferred attitude for a better communication. At the end, you will make a group presentation, where you apply your learning as you prepare with your teammates, and will get to acquire a sense of accomplishment and team-spirit.
学修の 到達目標 / Goal of Study	コミュニケーションに対する不安が軽減される; To reduce anxiety to communication. より積極的、前向きな取組みを取れる; To become more proactive toward communication 異文化を含めた基本的スキル・コツ・知識を獲得する; To get basic tips and knowledge for a better communication and for different cultures.
授業内容・ 方法と 進度予定 /Contents and Progress Schedule of the Class	※この科目ではGoogle Classroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。 学期を通して、まずは、テキストを読んで話し合い、内容の理解をする。それが終わったら、その知識を元に、チームでプレゼンテーションを準備する。準備を通し、学んだことを適用し実践しながらさらに学びを深める。毎回、コミュニケーションの実践練習があり、楽しみながらも互いの異文化や追いを感じるだろう。 1-2: オリエンテーション、シラバス説明、自己診断・コミュニケーション前提・スキルについて 3: 第1章・人間関係力 第7章 コミュニケーション力 4: 第2章 自己受容 5: 第3章 感情管理 6: 振り返り 7: 第4章 創造性 プレゼン準備のためのグループ話し合い開始(プレゼンに向けて) 8: 第5章 自律、相互依存 9: 第6章 オープンな心 10: 実践スキル練習 * *言語コミュニケーション 11: 実践スキル練習 * *言語コミュニケーション 12: まとめと発表準備 13-15: グループブレゼンテーション: 前半、テキストで学んだことをプレゼンの形態を通して教えることで、さらに理解を深める仕組みである。質疑応答でさらに理解を深め、疑問を解消する。 1-2: Orientation: What is communication? What is your communication? 3: Ist chapter, Human relations abilities: 7th chapter, Communication with others? 5: 3rd chapter: Emotion control, Importance of holding emotion and judgement 6: Reflection 7: 4th chapter: Creativity and plural views (Start team preparation for presentation) 8: 5th chapter: Open-minded 10: Practice of skills: Verbal Communication 11:
成績評価 方法	宿題&レポート(30%)、プレゼンテーション(70%)

	/Evaluation Method	Reports (30%), Presentation (70%)										
	教科書 および 参考書	No		書名			著	皆名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
60	/Textbook and References	1.	『多文化社会	のコミュニケ-	ーション』	Ц	山本喜久江, ハ	代京子	三修社	2020		教科書
@	関連URL /URL											
@	授業時間外 学修 /Preparation and Review	- 7。 - 万。 - 三、 一、										
@	実務・ 実践的授業 /Practical business ※Oは、 実務・実践的 授業であることを示す。/ Note: "O" Indicates the practical business	0										
@	授業への パソコン 持ち込み 【必要/不要】 / Students must bring their own computers to class [Yes / No]	要 required										
@	連絡先 (メール アドレス等) ※Emailは@ の置き換え に注意 / Contact (Email, etc.)	email: kikue.yamamoto.d2⊎tohoku.ac.jp										
@	その他 /In Addition	留学生は、日本語力がN1レベルなら歓迎! Overseas students with N1 level ofJapanese welcome. You would attain a great sense of accomplishment upon completion of presentation with Japanese students and other students around the world.										
@	更新日付 /Last Update	2023/	/02/07 14:53									

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・演習」については15~30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30~15時間、「実験、実習及び実技」については30~45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15~0時間です。
One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside od class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of

class.